

情報通信審議会 ヒアリング事項へのご回答

 **HIS Mobile**

会社紹介

H.I.Sグループ



TRAVEL
旅行事業



THEME PARK
テーマパーク事業



HOTEL
ホテル事業



REGION
地域事業



ROBOT
ロボット事業



ENERGY
エネルギー事業



INSURANCE
保険事業



OTHER BUSINESS
他事業

H I Sモバイル

企業理念：国を超えた人々の交流を促進し豊かな社会づくりと世界平和に貢献す

ビジョン：ネットワークを通じて生活環境の向上に取組み、お客様の発展に寄与する

ミッション：通信を活用した新たな体験価値を提供し心豊かな世界を生み出す

私達は、HISグループ内の様々な事業と通信を組み合わせ、新しい価値創造を提供する会社です。

情報通信審議会ヒアリング事項へのご回答

1. ヒアリング事項へのご回答

- (1) MVNO等への番号指定を認めることについて
- (2) MVNOへの番号指定の必要性について
- (3) ネットワーク形態について
- (4) 電気通信番号計画における番号の使用に関する条件について
- (5) スケジュール
- (6) その他

2. 音声伝送電話番号指定後のサービスについて

情報通信審議会ヒアリング事項へのご回答

1. ヒアリング事項へのご回答

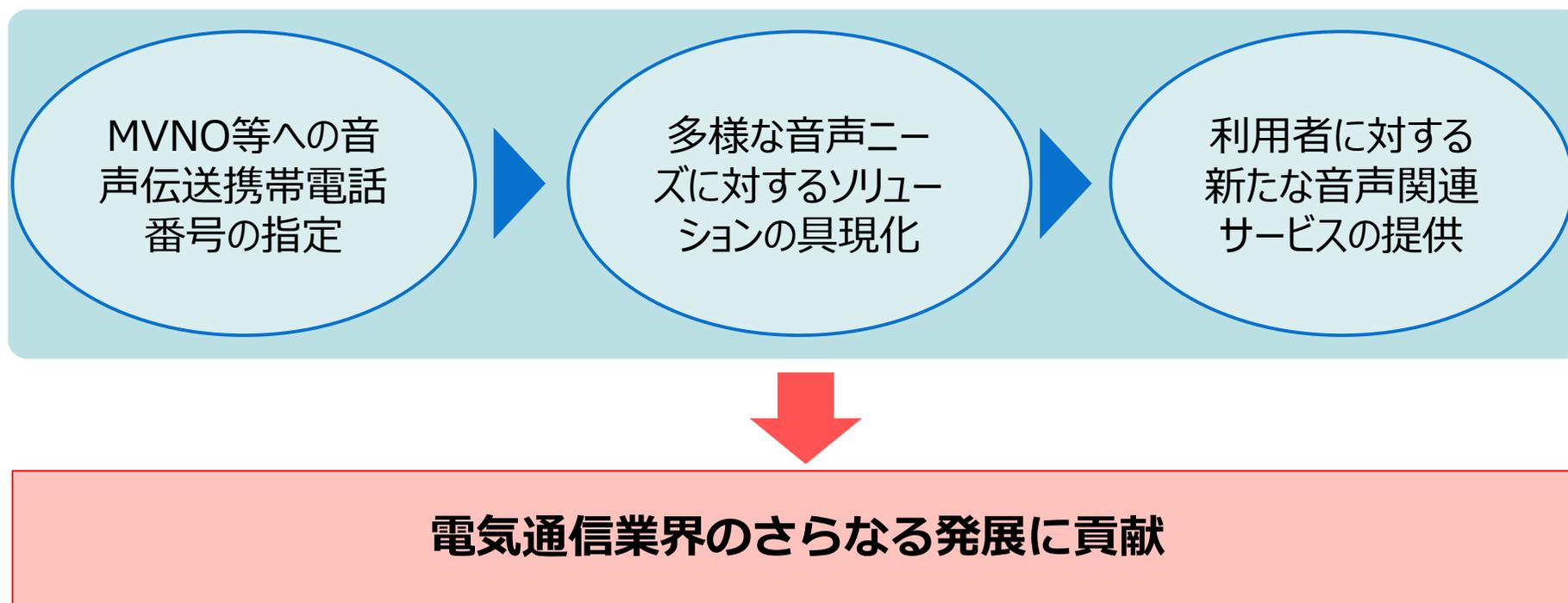
- (1) MVNO等への番号指定を認めることについて
- (2) MVNOへの番号指定の必要性について
- (3) ネットワーク形態について
- (4) 電気通信番号計画における番号の使用に関する条件について
- (5) スケジュール
- (6) その他

2. 音声伝送電話番号指定後のサービスについて

ヒアリング事項（1）

(1)MVNO等への番号指定を認めることについて

MVNO等への番号の指定を認めることにより、一般的な音声通話に係るニーズのみならず、様々な業界の音声ニーズに対するソリューションが生まれやすくなり、電気通信業界のさらなる発展につながるものと考えます。



ヒアリング事項（2）

(2)MVNOへの番号指定の必要性について

海外旅行客の通信サービスの主要なニーズのひとつとして、「1枚のSIMカードで、国内外のどちらでも、音声を含む通信が可能であること」というニーズが挙げられます。

特に国内での音声サービスに関しては、一般的に認知されている携帯電話番号を利用したいという利用者ニーズも多く存在するため、050番号、091番号といった特殊な番号等を指定することは、MVNOが新たに実現する音声サービスを利用する際の心理的に大きなハードルとなる可能性があります。

ヒアリング事項（3）

(3)ネットワーク形態について

当社は、電気通信設備の多くをイネイブラーあるいはベンダーに委託しております。音声伝送携帯電話番号のMVNO等への付与に関するネットワーク形態については、新規サービス実現に必要な設備形態となるように、イネイブラーあるいはベンダーと連携して実現していくこととなります。

ヒアリング事項（４）

(4)電気通信番号計画における番号の使用に関する条件

電気通信番号計画における番号の使用に関する条件（①緊急通報、②番号ポータビリティ、③品質に関する基準、④他事業者との接続）に関しては、イネイブラーおよびベンダーと適切に連携を行い、求められるシステムを構築する予定です。

ヒアリング事項（5）

(5)スケジュール

音声伝送携帯電話番号を利用したサービスの開始時期に関して、総務省殿からの指定を受けた場合、指定後6か月~1年程度でサービスを開始可能と考えます。

ヒアリング事項（6）

(6)その他

MNOへの要望について

MNO各社においては、音声伝送携帯電話番号の付与が認められた場合には、MVNOへ開示すべき情報が過度にブラックボックス化しないようにご協力いただきたいと考えております。

番号需要（見込み）等について

自社指定番号の需要（見込み）については、10万~100万番号を想定しております。また、指定単位数を10万番号単位よりも少なくすることについては、特段問題は無いものと考えます。

情報通信審議会ヒアリング事項へのご回答

1. ヒアリング事項へのご回答

- (1) MVNO等への番号指定を認めることについて
- (2) MVNOへの番号指定の必要性について
- (3) ネットワーク形態について
- (4) 電気通信番号計画における番号の使用に関する条件について
- (5) スケジュール
- (6) その他

2. 音声伝送電話番号指定後のサービスについて

音声伝送携帯電話番号指定後のサービスについて

MVNO等に音声伝送携帯電話番号を指定することが認められた場合、様々なサービスを創出することが可能となります。

可能となること

A

訪日旅行者・海外旅行者向けサービス

- ① 1つのSIMによる、国内外を問わず利用可能な音声通信サービスの実現が可能
- ② 音声プリペイドサービスの実現が可能
- ③ 世界中いつでもどこでもサービス利用開始可能な音声通信サービスの実現が可能
- ④ ハウステンボス内の音声通信環境の充実化が可能

B

訪日外国人（実習生・ビジネス渡航者）向けサービス

- ① 短期滞在者向けの音声通信サービスの充実化が可能
- ② 空港での本人確認・SIM受渡しを実施する仕組みの構築が可能
- ③ 携帯電話不正利用防止法に基づく本人確認によって、他の多種多様なサービスKYCで連携することが可能
- ④ 訪日外国人の銀行契約・住宅契約の簡易化が可能

C

先進技術・IoT関連サービス

- ① 音声通話の自動翻訳サービスの実現が可能。
- ② IoTデバイスからの音声発信を活用した仕組みの構築が可能
- ③ 音声認識による装置等の遠隔操作の仕組みの構築が可能。

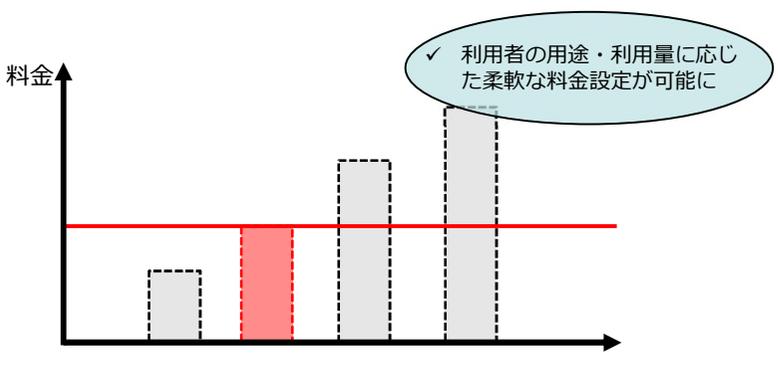
A. 訪日旅行客・海外旅行客向け

1 1つのSIMによる国内外の通信



✓ 1つのSIMのみで、世界中で音声サービスの利用が可能に

2 音声プリペイドサービスの実現



料金

可能通話時間

✓ 利用者の用途・利用量に応じた柔軟な料金設定が可能に

3 OTAでの24時間のオペレーション



Activation

✓ いつでも、どこでも通信サービスの契約が可能に

4 ハウステンボス内での音声通信環境の構築



✓ Voice Information

✓ VR・AR × Voice

⋮

✓ 音声サービスの可能性が広がることで、パーク内での新たな付加価値の創出が可能に

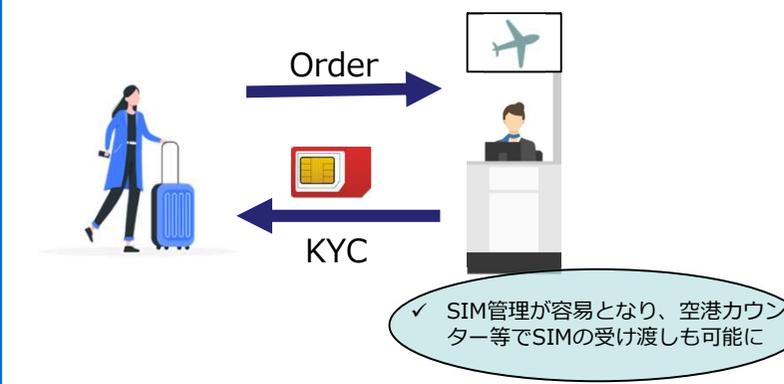
B.訪日外国人（実習生・ビジネス渡航者等）向け

1 短期滞在者向け音声通信



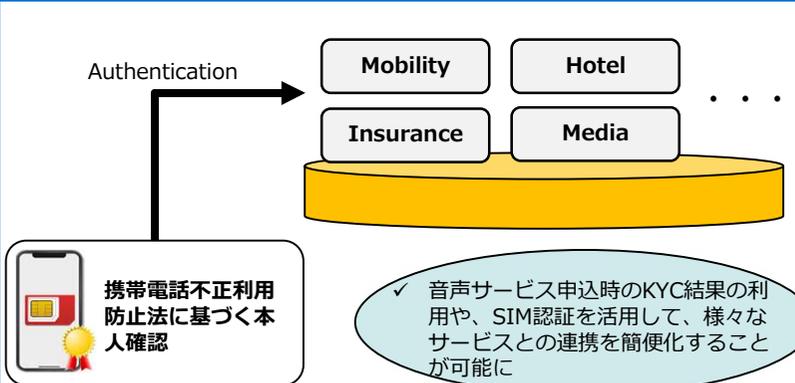
✓ 短期滞在者でも簡単に音声通信が可能に

2 空港での受渡し



✓ SIM管理が容易となり、空港カウンター等でSIMの受け渡しも可能に

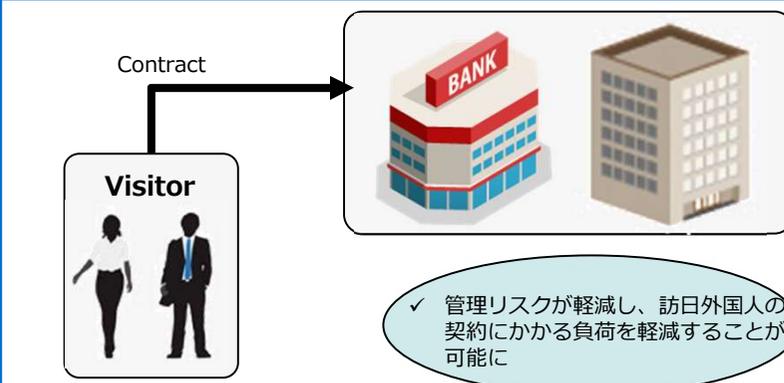
3 多種多様なサービスとの連携



携帯電話不正利用防止法に基づく本人確認

✓ 音声サービス申込時のKYC結果の利用や、SIM認証を活用して、様々なサービスとの連携を簡便化することが可能に

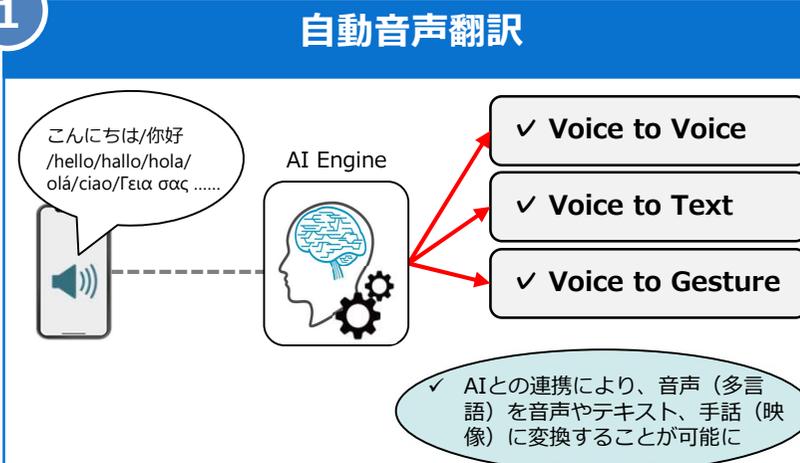
4 銀行契約・住宅契約等



✓ 管理リスクが軽減し、訪日外国人の契約にかかる負担を軽減することが可能に

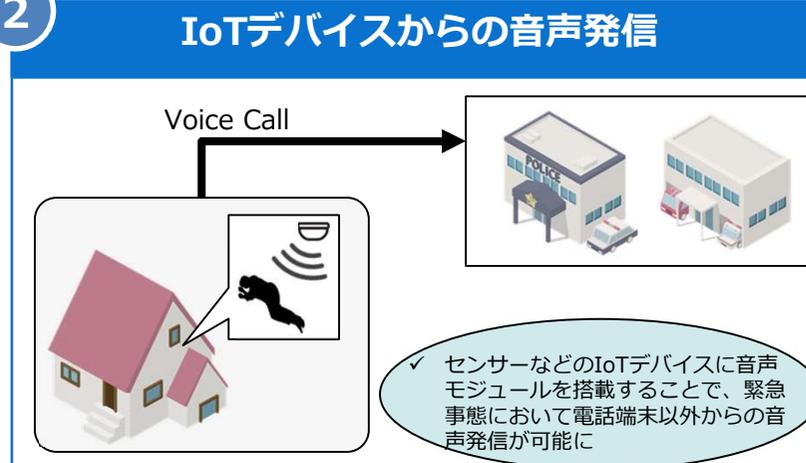
C.先進技術・IoT関連

1 自動音声翻訳



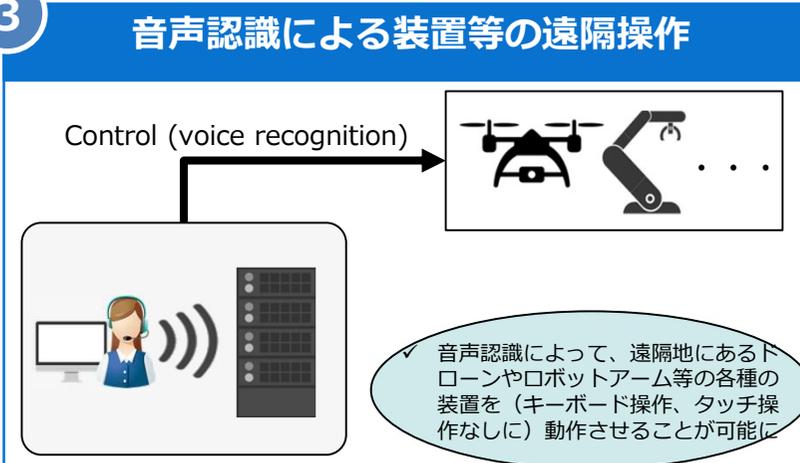
The diagram shows a smartphone on the left with a speech bubble containing the text: こんにちは/你好 /hello/hallo/hola/ olá/ciao/Γεια σας An arrow points from the smartphone to an 'AI Engine' represented by a head with gears. From the AI Engine, three arrows point to three boxes: '✓ Voice to Voice', '✓ Voice to Text', and '✓ Voice to Gesture'. A callout bubble at the bottom right contains the text: '✓ AIとの連携により、音声（多言語）を音声やテキスト、手話（映像）に変換することが可能に'.

2 IoTデバイスからの音声発信



The diagram shows a house on the left with a speech bubble containing a hand holding a phone receiver. An arrow labeled 'Voice Call' points from the house to a group of buildings including a 'POLICE' station and a hospital. A callout bubble at the bottom right contains the text: '✓ センサーなどのIoTデバイスに音声モジュールを搭載することで、緊急事態において電話端末以外からの音声発信が可能に'.

3 音声認識による装置等の遠隔操作



The diagram shows a person at a computer on the left with a speech bubble. An arrow labeled 'Control (voice recognition)' points from the person to a box containing icons of a drone, a robotic arm, and an ellipsis. A callout bubble at the bottom right contains the text: '✓ 音声認識によって、遠隔地にあるドローンやロボットアーム等の各種の装置を（キーボード操作、タッチ操作なしに）動作させることが可能に'.